



感染管理室からのお知らせ

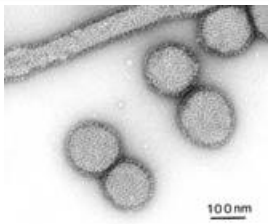
11/11～11/16の6日間に職員対象インフルエンザワクチン接種を実施します。
後日配布します案内文をご参照のうえ、対象者の皆様はお申し込みをお願いします。



インフルエンザ要注意！



インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原微生物とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられています。日本でも、例年冬期を中心に人口の10%前後が発病しています。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然に発熱(38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが出現し、鼻水・咳などの呼吸器症状がこれに続きます。いわゆる「かぜ」と比べて全身症状が強いのが特徴だとされていますが、昨今「かぜ」だと思われていた症状の方で実はインフルエンザウイルスに感染している「軽症例」が少なからず存在していることが明らかとなってきています。



国立感染症研究所HPより

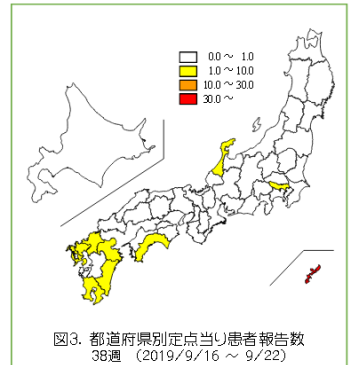


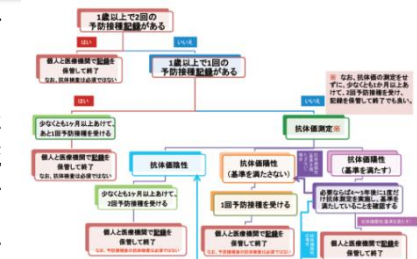
図3. 都道府県別定点当り患者報告数 38週 (2019/9/16 ~ 9/22)

この10月号でインフルエンザを取り上げることになるとは予想していませんでした。例年8～9月にかけて日本ではインフルエンザの患者数が最も減少するのですが、2019年は過去の8～9月と比べて大きく増加しており、特に9月に入ってからは急増がみられています。インフルエンザの流行状況の指標は定点当たり報告数(過去1週間の当該地域内の定点医療機関からのインフルエンザの報告数の合計値を定点医療機関数で除した値)で表され、1.0を超えることは流行開始の指標とされていますが、その全国平均値は第38週(9月第8週)は1.16であり、第37週に続いて1.0を超えています。特に沖縄県の第38週の定点当たり報告数は52.2と警報レベル(30.0)を大きく上回っており、また佐賀県(2.0)、宮崎県、福岡県(共に1.6)、石川県(1.4)、長崎県、鹿児島県、東京都(共に1.1)、高知県、大分県(共に1.0)と沖縄県以外の9都県で1.0を上回っています(図)。大阪府の定点当たり報告数は0.38と1.0を上回っていませんが、昨年の同時期の値の約3倍となっています。沖縄県を除いても、現在のインフルエンザの状況は例年であれば11月の中旬～下旬の水準であり、大阪においても10月中に定点当たり報告数が1.0を越えて流行が始まるかもしれません。10月中のインフルエンザ報告数の推移には要注意です。(感染管理室 安井良則)

図. インフルエンザの都道府県別定点当たり報告数(2019年第38週)(東京都健康安全研究センター「東京都インフルエンザ情報」<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/flu/2019/Vol22No2.pdf>より)

【御礼】第1回感染対策研修会

9月27日(金)に令和元年度第1回感染対策研修会を開催しました。今年は、講師として国立感染症研究所 感染症疫学センターの砂川富正先生をお招きし、『医療機関における麻疹・風疹への備えと対応』というテーマで約1時間の講演をしていただきました。また、ゲストとして風しんをなくそうの会「hand in hand」の大畑茂子様からも先天性風疹症候群に関する体験を交えたお話を聞くことができました。当院では、麻疹・風疹を含む4種の流行性ウイルス疾患の備えとして、全職員へ抗体価検査と抗体陰性者へはワクチン接種を病院負担で実施しております。講演会の中でもお話がありましたが、当院のワクチンプログラムも「医療関係者のためのワクチンガイドライン第2版」(日本環境感染学会)に沿って行っております。いつ、どこで、どのタイミングで麻疹・風疹患者と接触するかわかりません。今回の研修会を機に、今一度ご自身の抗体価検査結果およびワクチン接種状況の確認をしてみてください。



麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘ワクチン接種のフローチャート(医療関係者のためのワクチンガイドライン第2版より)

なお、今回の講演会に参加できなかった職員の皆様は、同内容でDVD講習会を予定しております。感染対策研修会は、年2回以上研修会を開催しているだけではなく、全職員が受講していることが求められます。適時調査や保健所の立ち入り調査、感染防止対策地域連携加算における相互評価、その他ISOや病院機能評価などの第三者評価機構の監査においては受講率を確認されます。全職員が研修を受講できるよう、ご協力よろしくお願いします。(感染管理室 川口尚子)

【講演会に参加できなかった方】
DVD講習会(講演会と同内容) ※日本専門医機構認定共通講習
2019年10月18日(金)・10月24日(木)・10月28日(月)
14:30～15:30/16:00～17:00/17:30～18:30
南棟2階 講堂(* 勤怠カードをご持参ください)



2019年度 感染対策研修会のご案内
日本専門医機構認定共通講習
本年度も外部講師を招いての全職員を対象とした研修会を下記の通り行います。多数のご参加お待ちしております。

日時: 2019年9月27日(金) 17:15～18:30
場所: 西棟13階 体育館 *勤怠カードをご持参ください
テーマ: 『医療機関における麻疹・風疹への備えと対応』
講師: 国立感染症研究所 感染症疫学センター 第二室 室長 砂川 富正 先生
【ゲスト】 風しんをなくそうの会「hand in hand」役員 大畑 茂子 様
対象: 全職員

※日本専門医機構認定共通講習: 受講証明書の発行を希望される医師は後日人事課までお申し込みください。
【講演会に参加できなかった方】
DVD講習会(講演会と同内容) ※日本専門医機構認定共通講習
2019年10月18日(金)・10月24日(木)・10月28日(月)
14:30～15:30/16:00～17:00/17:30～18:30
南棟2階 講堂(* 勤怠カードをご持参ください)
講習会当日は医師が受講されます。講師へお礼の言葉、御礼状を必ずお送りください。予定が変更された場合は、お知らせいたします。

主催: 大阪府済生会中津病院 感染対策委員会/ 感染対策チーム、乳癌腫瘍正統支援センター